



2024年度 第2四半期(中間期) 決算補足説明資料

2024年10月30日

南海電気鉄道株式会社 (東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>)

目次

I. 2024年度 第2四半期(中間期)決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 4
3. 営業外・特別損益の状況	P. 13
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 14
5. キャッシュ・フローの状況	P. 15
II. 2024年度 通期業績予想	P. 16
1. 業績ハイライト	P. 17
2. セグメント別の状況	P. 18

I. 2024年度 第2四半期(中間期)決算概要

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2024/2Q 実績 (A)	2023/2Q 実績 (B)	対2023/2Q実績		2024/2Q 期初予想 (2024年4月公表) (C)	対2024/2Q期初予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営業収益	123,579	117,672	5,906	5.0%	126,800	△ 3,220	△ 2.5%
営業利益	18,256	14,237	4,018	28.2%	16,200	2,056	12.7%
営業外収益	3,395	974	2,421	248.4%			
営業外費用	1,828	1,944	△ 115	△ 5.9%			
経常利益	19,822	13,268	6,554	49.4%	15,100	4,722	31.3%
特別利益	8,980	156	8,824	—			
特別損失	10,389	525	9,864	—			
親会社株主に帰属する 中間純利益	12,550	8,867	3,682	41.5%	8,900	3,650	41.0%

【営業収益、経常利益は過去最高】

<主な増減理由:対2023/2Q実績>

運輸業における輸送人員の増加や2023年10月に実施した鉄道線の運賃改定効果等により増収増益

<主な増減理由:対2024/2Q期初予想>

不動産販売業における物件販売の見送りにより減収となった一方、不動産賃貸業や鉄道事業、

ショッピングセンターの経営を中心に営業増益、また特定目的会社からの配当金受領もあり経常増益

‘なんかいね’があふれてる

2. セグメントの構成状況（2024年9月末現在）

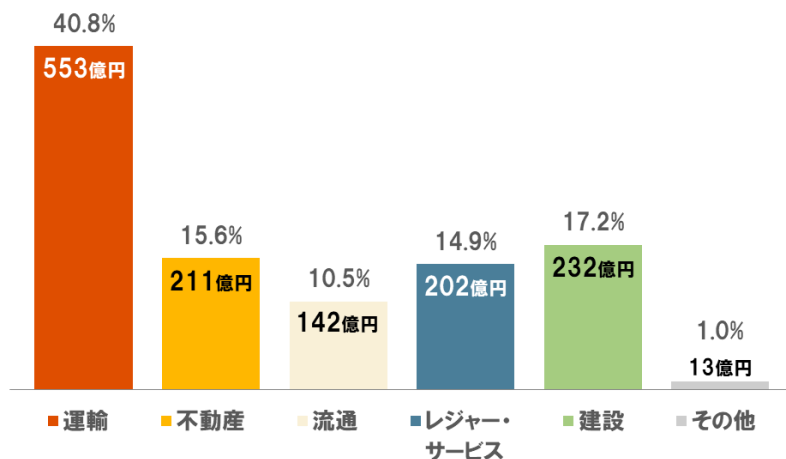
【連結子会社52社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

（対2024年3月末 増減なし）

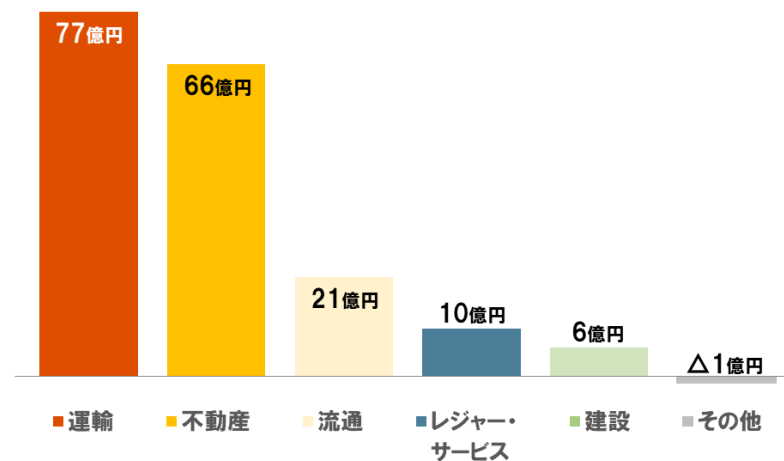


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

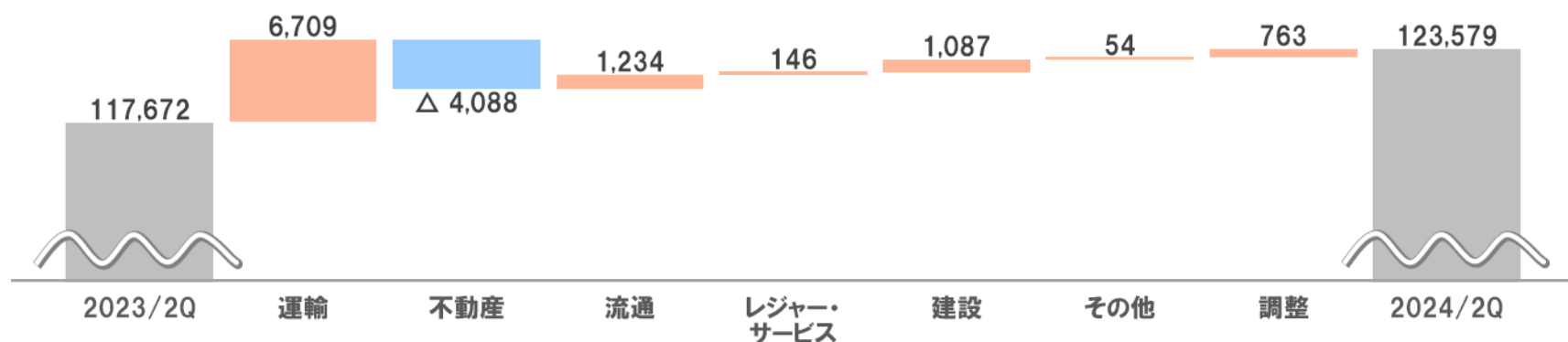


※ 構成比:セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

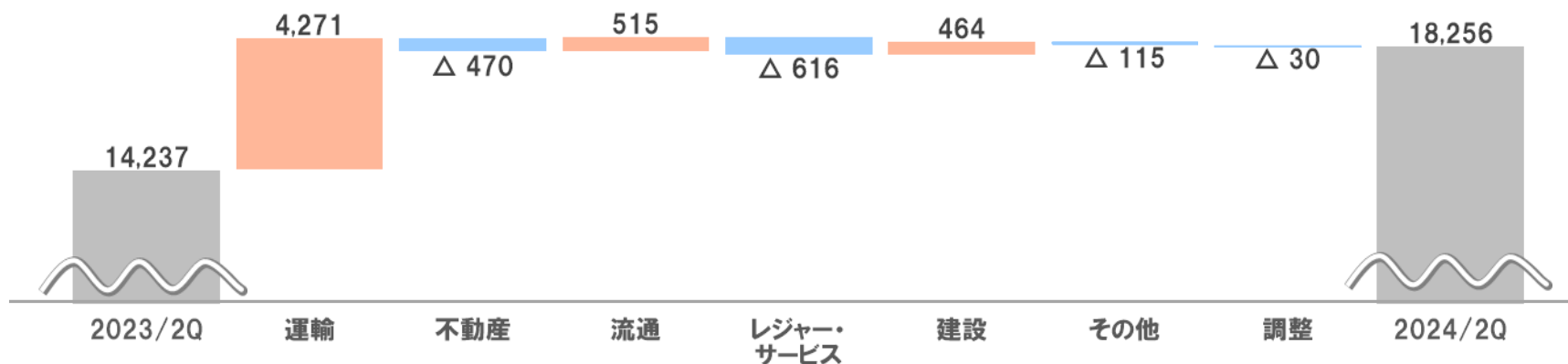
2. セグメント別営業収益・営業利益

① 営業収益の増減額（対2023/2Q比較）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2023/2Q比較）



2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益			
	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
運輸業	55,341	48,632	6,709	13.8%	7,728	3,456	4,271	123.6%
不動産業	21,130	25,218	△ 4,088	△ 16.2%	6,602	7,072	△ 470	△ 6.6%
流通業	14,299	13,064	1,234	9.4%	2,131	1,616	515	31.9%
レジャー・ サービス業	20,243	20,097	146	0.7%	1,084	1,701	△ 616	△ 36.2%
建設業	23,259	22,172	1,087	4.9%	637	173	464	267.9%
その他の事業	1,368	1,313	54	4.2%	△ 173	△ 58	△ 115	—
調整額	△ 12,062	△ 12,826	—	—	246	276	—	—
合計	123,579	117,672	5,906	5.0%	18,256	14,237	4,018	28.2%

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	55,341	48,632	6,709	13.8%
鉄道事業	36,195	30,999	5,196	16.8%
バス事業	12,097	11,536	561	4.9%
その他の運輸業	10,766	9,389	1,376	14.7%
調整額(セグメント内)	△ 3,718	△ 3,293	—	—
営業利益	7,728	3,456	4,271	123.6%
主な内訳				
鉄道事業	6,583	2,472	4,111	166.3%
バス事業	1,510	1,031	478	46.4%

<主な増減理由>

鉄道事業及びバス事業が好調に推移し輸送人員が増加したことに加え、運賃改定の効果等もあり増収増益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線			2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期外		19,495	16,254	3,240	19.9%
	定期		11,205	9,941	1,263	12.7%
	合	計	30,700	26,196	4,503	17.2%
輸送人員	定期外		47,598	44,446	3,152	7.1%
	定期		64,548	63,768	780	1.2%
	合	計	112,146	108,214	3,932	3.6%

空港線			2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期外		5,919	4,247	1,671	39.4%
	定期		767	605	162	26.9%
	合	計	6,687	4,853	1,834	37.8%
輸送人員	定期外		6,857	5,308	1,549	29.2%
	定期		2,377	2,018	359	17.8%
	合	計	9,234	7,326	1,908	26.0%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	21,130	25,218	△ 4,088	△ 16.2%
不動産賃貸業	17,382	17,481	△ 98	△ 0.6%
不動産販売業	3,831	8,118	△ 4,286	△ 52.8%
調整額(セグメント内)	△ 84	△ 381	—	—
営業利益	6,602	7,072	△ 470	△ 6.6%
主な内訳				
不動産賃貸業	6,476	6,317	158	2.5%
不動産販売業	208	837	△ 628	△ 75.1%

<主な増減理由>

・不動産販売業において、前年度は上半期にマンションの引渡しが集中したことにより減収減益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	14,299	13,064	1,234	9.4%
ショッピングセンターの経営	7,765	7,224	540	7.5%
駅ビジネス事業	7,334	6,628	705	10.6%
その他の流通業	110	109	0	0.1%
調整額(セグメント内)	△ 911	△ 899	—	—
営業利益	2,131	1,616	515	31.9%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	1,281	895	386	43.1%
駅ビジネス事業	879	742	136	18.3%

<主な増減理由>

- ・ショッピングセンターの経営は、好調な売上により賃貸料収入が増加したこと等により増収増益
- ・駅ビジネス事業は、コンビニエンスストアの売上が好調に推移したこと等により増収増益

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	20,243	20,097	146	0.7%
ビル管理メンテナンス業	11,773	11,725	48	0.4%
その他のレジャー・サービス業	9,396	9,358	38	0.4%
調整額(セグメント内)	△ 926	△ 986	—	—
営業利益	1,084	1,701	△ 616	△ 36.2%
主な内訳 ビル管理メンテナンス業	313	517	△ 203	△ 39.4%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、ビルメンテナンス収入の増加等による増収の一方、売上原価や人件費等の増加により減益
- ・その他のレジャー・サービス業は、旅行需要の回復等による増収の一方、売上原価や人件費等の増加により減益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	23,259	22,172	1,087	4.9%
建設業	23,259	22,180	1,079	4.9%
調整額(セグメント内)	△ 0	△ 8	—	—
営業利益	637	173	464	267.9%

<主な増減理由> 完成工事高の増加や、利益率の向上等により増収増益

(単位:百万円)

その他の事業	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	1,368	1,313	54	4.2%
その他の事業	1,379	1,334	45	3.4%
調整額(セグメント内)	△ 11	△ 20	—	—
営業利益	△ 173	△ 58	△ 115	—

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収、経費等の増加により減益

‘なんかいいね’があふれてる

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	摘要
営業外収益	3,395	974	2,421	
受取利息	13	13	0	
受取配当金	3,094	640	2,454	当期:特定目的会社からの配当金 他
雑収入	287	321	△ 33	
営業外費用	1,828	1,944	△ 115	
支払利息	1,584	1,711	△ 126	
雑支出	244	232	11	
特別利益	8,980	156	8,824	
工事負担金等受入額	8,894	153	8,741	当期:高石市内連続立体交差化工事 他
その他	85	2	82	
特別損失	10,389	525	9,864	
工事負担金等圧縮額	8,890	150	8,740	当期:高石市内連続立体交差化工事 他
投資有価証券評価損	—	332	△ 332	
その他	1,498	42	1,456	当期:物流施設における固定資産除却損 他

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2024/2Q末	2023年度末	増減額	主な増減理由												
流動資産	86,480	105,354	△ 18,873	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 ・現金及び預金の減少 △242億円 ・受取手形、売掛金及び契約資産の増加 +44億円 ・商品及び製品の増加 +19億円 												
固定資産	838,540	845,296	△ 6,755	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 ・建設仮勘定の減少 △53億円 ・減価償却等に伴う建物及び構築物の減少 △47億円 ・投資有価証券の増加 +39億円 												
資産合計	925,021	950,650	△ 25,629	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 【有利子負債残高】 (単位:億円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2024/2Q末</th> <th>2023年度末</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債</td> <td>4,153</td> <td>4,309</td> <td>△ 156</td> </tr> <tr> <td>純有利子負債</td> <td>3,963</td> <td>3,876</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table>		2024/2Q末	2023年度末	増減額	有利子負債	4,153	4,309	△ 156	純有利子負債	3,963	3,876	86
	2024/2Q末	2023年度末	増減額													
有利子負債	4,153	4,309	△ 156													
純有利子負債	3,963	3,876	86													
負債合計	611,539	643,548	△ 32,009	<ul style="list-style-type: none"> ・未払金の支払いによる流動負債その他の減少 △57億円 ・未払法人税等の減少 △27億円 												
純資産	313,482	307,102	6,380	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 ・親会社株主に帰属する中間純利益 +125億円 ・剰余金の配当 △39億円 ・その他有価証券評価差額金の減少 △22億円 												
負債純資産合計	925,021	950,650	△ 25,629													

‘なんかいいね’があふれてる

5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2024/2Q 実績	2023/2Q 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	14,218	20,739	△ 6,520	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・法人税等の支払額又は還付額 △59億円 ・棚卸資産の増減額 △34億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 18,616	△ 4,153	△ 14,462	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の取得による支出 △57億円 ・固定資産の取得による支出 △44億円 ・固定資産の売却による収入 △32億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 19,996	△ 29,868	9,871	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債増減額 +111億円 ○ 当期 <ul style="list-style-type: none"> 借入金 △226億円 コマーシャル・ペーパー +70億円 ○ 前期 <ul style="list-style-type: none"> 借入金 △248億円 社債 △100億円 コマーシャル・ペーパー +80億円
現金及び現金 同等物の期末残高	18,008	24,257	△ 6,249	

‘なんかいいね’があふれてる

II. 2024年度 通期業績予想

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2024年度			主な増減要因	2023年度実績 (C)	増減額 (A-C)
	修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
営業収益	262,400	259,100	3,300	<対期初予想> ●営業収益【過去最高】 旅行業、ビル管理メンテナンス業及び ショッピングセンターの経営を中心に増収 ●営業利益 各セグメントにおける増収や鉄道事業の 費用削減もあり増益 ●経常利益【過去最高】 営業増益に加えて、特定目的会社からの 配当金受領により増益 ●投資額 計上時期の月ズレ等による減少 <対2023年度実績> ●親会社株主に帰属する当期純利益 前期にリート投資法人への物件売却益を 特別利益に計上した反動により減益	241,594	20,805
営業利益	32,700	31,000	1,700		30,820	1,879
経常利益	33,000	28,700	4,300		29,312	3,687
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,200	17,900	3,300		23,926	△ 2,726
投資額	61,100	77,300	△ 16,200		25,787	35,312
減価償却費	28,400	28,600	△ 200		27,477	922
EBITDA*	64,800	60,800	4,000		59,490	5,309
有利子負債残高	442,800	442,800	0		430,979	11,820
純有利子負債残高	408,500	419,700	△ 11,200		387,693	20,806
有利子負債残高/ EBITDA*倍率	6.8倍	7.3倍	△ 0.5pt		7.2倍	△ 0.4pt
純有利子負債残高/ EBITDA*倍率	6.3倍	6.9倍	△ 0.6pt	6.5倍	△ 0.2pt	

‘なんかいね’があふれてる



※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2024年度			主な増減要因	2023年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
運 輸 業	営業収益	111,900	111,600	300	・鉄道事業△6億円 旅客運輸収入の減 ・バス事業+10億円 明光バス新規連結や運送収入の増	101,817	10,082
	営業利益	11,900	11,400	500	・鉄道事業+2億円 減収の一方で費用の減 ・バス事業+5億円 ・貨物運送業△2億円	8,126	3,773
不 動 産 業	営業収益	49,200	49,000	200	・不動産賃貸業+3億円 ホテル賃貸料収入の増	53,140	△ 3,940
	営業利益	12,400	11,800	600	・不動産賃貸業+5億円 増収、費用の減	14,720	△ 2,320
流 通 業	営業収益	28,400	27,500	900	・ショッピングセンターの経営+4億円 施設売上高の増 ・駅ビジネス事業+5億円 コンビニエンスストア収入の増	26,760	1,639
	営業利益	3,300	2,700	600	・ショッピングセンターの経営+5億円 増収、費用の減	2,661	638

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2024年度			主な増減要因	2023年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
レジャー・ サービス業	営業収益	46,500	43,800	2,700	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業+16億円 MICE収入の増 ・ビル管理メンテナンス業+12億円 鉄道メンテナンス収入の増 	43,104	3,395
	営業利益	3,100	3,200	△ 100		3,402	△ 302
建設業	営業収益	52,200	52,200	—		44,792	7,407
	営業利益	2,200	2,100	100		1,794	405
その他の業	営業収益	3,800	2,600	1,200	・システム収入の増加等	4,089	△ 289
	営業利益	100	100	—		179	△ 79
調整額	営業収益	△ 29,600	△ 27,600	—		△ 32,109	—
	営業利益	△ 300	△ 300	—		△ 62	—
合計	営業収益	262,400	259,100	3,300		241,594	20,805
	営業利益	32,700	31,000	1,700		30,820	1,879

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額			修正予想額 主な内訳	EBITDA ※1		
	修正予想 (A)	2024年度 期初予想 (B)	増減額 (A-B)		修正予想 (A)	2024年度 期初予想 (B)	増減額 (A-B)
運 輸 業	28,800	29,500	△ 700	<収益拡大投資 265億円> ・収益用不動産取得等 200億円 <安全・更新投資 313億円> ・鉄道関連工事 160億円 車両新造、変電所機器更新等 ・不動産及び流通施設工事 47億円 <未来探索投資 49億円> ・ツーリズム関連投資 4億円 【主な増減】 <収益拡大投資> ・不動産業での計上時期の月ズレ等による減少	28,200	27,900	300
不 動 産 業	26,900	40,300	△ 13,400		20,000	19,400	600
流 通 業	2,400	2,600	△ 200		7,300	6,800	500
レジャー・サービス業	4,400	6,300	△ 1,900		4,400	4,500	△ 100
建 設 業	200	200	—		2,300	2,200	100
その他の事業	—	0	△ 0		100	100	—
調 整 額	△ 1,600	△ 1,600	—		※2 2,500	※2 △ 100	—
合 計	61,100	77,300	△ 16,200		64,800	60,800	4,000

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

2. 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

【当社鉄道線 修正予想の考え方】

期初予想比では、定期外、定期ともに若干の減収を見込むものの、2023年10月に実施した運賃改定の通期寄与とともに、インバウンド需要の増加や国内移動需要の堅調な回復の継続により、前期比では増収を見込む。

(単位:百万円・千人)

全線		2024年度 修正予想	対前期 増減率	2024年度 期初予想	対前期 増減率	2023年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	38,964	10.9%	39,562	12.6%	35,140	27.8%
	定期	22,210	8.8%	22,383	9.6%	20,415	7.6%
	合計	61,174	10.1%	61,946	11.5%	55,556	19.6%
輸送人員	定期外	95,273	4.5%	96,345	5.7%	91,160	11.1%
	定期	127,382	1.0%	126,896	0.6%	126,174	3.7%
	合計	222,655	2.4%	223,241	2.7%	217,334	6.7%

空港線		2024年度 修正予想	対前期 増減率	2024年度 期初予想	対前期 増減率	2023年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	11,881	22.5%	12,148	25.3%	9,696	95.7%
	定期	1,555	21.0%	1,526	18.8%	1,285	44.4%
	合計	13,437	22.4%	13,674	24.5%	10,982	87.9%
輸送人員	定期外	13,883	20.1%	14,114	22.1%	11,555	77.9%
	定期	4,808	15.3%	4,620	10.8%	4,170	38.1%
	合計	18,691	18.9%	18,734	19.1%	15,725	65.3%

‘なんかいいね’があふれてる

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

南海電気鉄道株式会社